

山本正徳宮古市長へ「放射能汚染物牧草等の焼却処理に関する質問と要望書」を提出その回答とコメント一覧

提出日平成25年7月5日

回答日平成25年8月6日

三陸の海を放射能から守る岩手の会（盛岡市）

子どもに豊かなふるさとと未来を残す会（宮古市）

他別記37団体 から提出

放射能汚染物牧草等の焼却処理に関する質問と要望書

日頃、宮古市民の生活や福祉のためご尽力に敬意を表します。

私達は、六ヶ所再処理工場から放出される放射能汚染水による海洋汚染を憂慮し活動している市民団体です。

この度は、宮古市小山田の清掃センターで放射性セシウムに汚染された牧草やほだ木を焼却する計画があると聞き注目して参りました。宮古市民から焼却中止の声があがり、計画が見直されるものと期待しておりましたが、7月9日から焼却処理が開始されるとのことで大変心配しています。

私達は放射能汚染物の焼却の問題について、計画当初から疑念を抱き、国の災害廃棄物安全評価検討会各委員へ要望書、国へ質問主意書を提出し回答を得るなど疑問解明と中止を訴えてきました。しかし、何ら科学的な安全証明がなく疑問は深まるばかりで、原発事故により放射能汚染された県土が焼却処理により更に汚染され県民の健康や生活環境が脅かされるのではないかと危機意識を持っております。

私達が心配する以下の項目にお答え頂きたくお願い申し上げます。また後段の要望書のご検討をお願いします。

質問	回答	コメント
<p>放射能汚染物の焼却処理に関する質問書</p> <p>1) 焼却処理場のバグフィルターで放射性物質</p>	<p>農林第281号 平成25年8月6日 三陸の海を放射能から守る岩手の会 世話人 永田文夫様 子どもに豊かな未来とふるさとを残す会 代表者 古館和子様 宮古市長 山本正徳 放射能汚染物の焼却処理に関する質問書への回答について 平成25年7月5日付けで提出のあった質問書について、下記のとおり回答します。</p> <p>記 回答 1) 及び2) 宮古地区広域行政組合の焼却施設には、高度</p>	<p>問1) 2) についての回答 科学的なデータを基に質問したのですが、科</p>

が本当に除去できるのですか。

高性能のバグフィルターで0.5ミクロン程度の粒径を持つものまでしか除去できません。気体分子のサイズは0.0001～0.001ミクロン程度であり、0.001～0.5ミクロンの粒径を持つ微粒子は除去できないことになりませんが問題ないのでしょうか。お答えください。

(資料1, 2) バグフィルターと排気筒との間に入っているサイレンサーの写真をご覧ください。バグフィルターで微粒子を除去できないことがわかります。

2) バグフィルターで除去できない0.001～0.5ミクロンの粒径を持つ微小粒子は呼吸により肺の奥深くまで入り込むことがわかっています。また屋内にも入り込みやすいことがわかっています。この事実をどう評価しますかお知らせください。

(資料3, 4, 5)

3) 東京都や神奈川県の小学校で焼却場の稼働・停止にともない喘息の児童が増減した事例をどう判断されますか。これに微小粒子に付着している放射能が加わることになりませんが・・・

(資料6, 7, 8)

4) 焼却場で生ずる放射性セシウムを含む焼却灰から、降雨によりその殆どがイオンとして溶け出すことが国の資料からわかっています。特

の機能を有する排ガス処理施設であるバグフィルターを有しており、排ガスに移行した放射性セシウムは、バグフィルター入口で約200℃以下に冷却され、凝縮し、固体状態となり、バグフィルターでばいじん(飛灰、フライアッシュともいう)として除去されます。

今回ご指摘のあった気体分子とは、二酸化炭素などの気体ガスのことであり、ばいじん(飛灰、フライアッシュ)とは異なるものになります。

なお、これまで試験焼却などの排ガス測定結果においても、排ガス中の放射性セシウムは不検出ですので、当該焼却施設で安全に焼却処理ができると考えております。

回答 4)

焼却灰に含まれる放射性セシウムが水に溶出しやすいことは、従前から明らかであり、そのことを踏まえ環境省の廃棄物ガイドラインでは

学的な根拠資料を示さずに、バグフィルター入口で約200℃以下まで冷やされ放射性セシウムは凝縮し固体状態となりばいじんとして除去される、との回答。凝縮し固体となったものはみなバグフィルターで除去できる粒径以上になっているのかどうか不明であり、これでは答えになっていません。ばいじんになれば全てフィルターで除去できると考えているような回答であり粒径とフィルターでの捕集径の関係について理解されているのか疑問です。

排ガス測定結果、排ガス中の放射性セシウムが不検出だから問題ないとしています。大気環境に出ていないので、2) 微粒子が肺の奥まで侵入することについては答えないということなのでしょう。

排ガス中の放射性セシウムの測定方式、ろ紙と水にガスを通しセシウムを捉えそれを測定していますが、水に気体中のセシウムがどれだけ溶解するのか、検証された測定方式なのか。この点について再度質問することにしていきます。直接環境省にも質問する予定です。

問3)

焼却場の稼働と児童の喘息の関係に関して回答なし

この件について、問うたところ「他の市町村のことはコメントできない」との回答でした。このような事実を見て、予防原則に立ち人々を守ってほしいと伝えました。

問4) 焼却灰を埋め立てるに当たり、「覆土を厚く行うなどし、セシウムを粘土粒子に確実に吸着させると」しています。そして今までの水

に大雨時にはゼオライト・粘土などの層で吸着するいとまもなく処理水として溶け出します。現に県内の最終処分場から放射性セシウムが検出されています。処分場の水処理方式ではセシウムを除去できません。これでは放出先の河川や海が汚染されます。見解をお知らせください。(資料9, 10)

5) 焼却場の従業員の被曝管理は大丈夫ですか。2005年の原子炉等規制法改正によるクリアランス制度では放射性セシウムについて100ベクレル/kg以上は放射性物質扱いとし埋設などは行わないことになっていました。焼却作業者は日常的に100ベクレル/kg以上の放射性セシウムを扱うこととなります。従業員の健康管理、日常的な被曝線量の評価記録などは厳重に行い、もし健康被害が出た場合の保障などの体制はできているのでしょうか。

6) 放射性物質は微量でも危険という、米国科学アカデミーによる大規模疫学調査結果が公表されています。宮古市民を余計な被曝にさらさない慎重さが求められるはずですが、この調査結果をどう判断されますか。

埋立にあたり覆土を厚く行うなどの追加措置により放射性セシウムを粘土粒子への確実な吸着を確保することとしています。

宮古地区広域行政組合の最終処分場では、既にその対策をとっており、これまでの排水測定結果においても、排水中の放射性セシウムは不検出ですので、安全に埋立処理ができると考えております。

回答 5)

クリアランスレベルである100Bq/Kgについては、廃棄物を安全に再利用できる基準であり、再生利用した製品が日常生活を営む場所などで様々な方法で使われることを想定して定められた基準であります。

また、放射性物質汚染対処特措法で定められた8,000Bq/Kgについては、廃棄物を安全に処理するための基準として、焼却施設などで作業する者の外部被ばくや内部被ばくについて考慮のうえ定められたものです。

宮古地区広域行政組合については、放射性セシウムが8,000Bq/Kg以下の廃棄物を扱うことにしており、焼却灰については1,000Bq/kgを超えないよう800Bq/kg以下という低レベルで管理することとしておりますので、従業員の健康管理については心配ないと考えております。

質検査では不検出になっていることから安全に埋立処理できるとしています。

大雨の時の測定値はあるのかは不明でした。また、放流先の河川の上流と下流の底土の分析はしていないが、それを調べて欲しい旨要望しました。測定頻度を増し、環境試料調査を多様に行うことを要請しました。

問5) クリアランス制度は原発廃炉時代を迎え廃炉解体物をいかに安価に容易に処理処分するかという目的のもと作られた制度です。このような基準のもと放射能に汚染されたものが生活の場に出回り始めることに疑問をもち反対してきました。放射能は微量でも危険ということがわかっている今、宮古市の回答は「微量ならば良い」とする国の姿勢の受け売りです。

まして、最大で8000Bq/kgまで許されるのですから従業員の健康管理、被ばく管理は厳重に行わなければなりません。

原子力施設では放射線管理区域を定め被ばく管理をしておりますが、扱う総量はそれほど多くはありません。清掃焼却工場では低線量と言っても扱う総量が多く、粉塵の吸入などよほど慎重にしなければなりません。

問6)、7)

米科学アカデミーの疫学調査
内部被ばくに関する問いについては
回答なし

<p>(資料11)</p> <p>7) 放射性セシウムは特定臓器に濃縮し集中被曝することが指摘されています。また胎児・乳児など幼少者ほど影響を受けやすいことが知られています。“内部被曝”についてその影響を正確に数値であらわすことは困難なのですが、仮定に基づく計算(シーベルト単位)により使用されています。6) やチェルノブイリ事故で起きている実際の被害とシーベルトとの関係の吟味ご確認の上ご使用お願いします。ご見解があればお知らせください。</p> <p>(資料12)</p> <p>以上</p>	<p>【担当】 宮古市市民生活部環境課 宮古市産業振興部農林課</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	--

.....

平成25年7月5日

宮古市長山本正徳様

三陸の海を放射能から守る岩手の会(盛岡市)
子どもに豊かなふるさとと未来を残す会(宮古市)
他別記37団体 合計39団体

放射能汚染物の焼却処理に関する要望書

宮古市民へ上記質問書の回答を公開し、説明会を開催した上で放射能汚染物の焼却を始めていただけませんか。それまで焼却処理を待つて頂きたくお願い申し上げます。市議会で審議され決定された事案について、失礼とは思いつつ、事の重大性を考え要望させていただきます。

連絡先
三陸の海を放射能から守る岩手の会 世話人 永田文夫
〒020-0004 岩手県盛岡市山岸 6-36-8 電話・FAX019-661-1002

.....

【標記2団体以外の提出35団体名】 合計提出37団体

岩手有機農業研究会（岩手県）さとう衣料店（宮古市）クランボンの会（盛岡市） 春を呼ぶ会（盛岡市）無限洞（盛岡市）ブドリとネリの会（盛岡市）子供達の放射線被ばく低減化を推進する盛岡の会（盛岡市）樹楽羅くらぶ（雫石町）子どもと海と空の会（花巻市）PEACE LAND(青森県八戸市) 放射能を拡散させない市民有志の会（秋田県横手市）鮫川村焼却炉問題連絡会（福島県鮫川村）三陸のさんま・わかめを愛する会（東京都多摩市）ノーモア放射能とやまネットワーク（富山県）脱原発・滋賀☆アクション（滋賀県大津市）放射能から子どもと未来を守る市民の会（大阪市）mame-ten-cafe（大阪府富田林市）震災復興プロジェクト（大阪府）子どもたちを放射能から守る・八尾の会（大阪府）子どもたちを放射能から守る・生駒の会（奈良県生駒市）大阪の公害問題を考える会（大阪府中央区）放射能から豊中の市民・子どもを守る会（大阪府豊中市） オールターナティブズ（大阪府）関西Futureコミュニティー（大阪府）原発やめよう/つながろう関西・マダム会議（大阪府、兵庫県）チームにっこり（大阪府堺市）放射能汚染ガレキ広域処理差し止め裁判原告団（大阪府高槻市） ウラニウム兵器禁止条約実現キャンペーン（大阪府高槻市） 大阪此花発！STOPがれき近畿ネットワーク（大阪市） ちょっと待って！放射能ガレキ 関西ネット（大阪府大阪市）
玄米ごはんとお茶とお菓子・MOMONGA（兵庫県）放射能防御プロジェクト近畿（兵庫県三田市）くまの虹のわ（和歌山県新宮市）名張の未来を考える会（三重名張市）NPO法人 伊賀・水と緑の会（三重県伊賀市）子どもたちを放射能から守る関西ネットワーク（滋賀県大津市）花風香の会（滋賀県）